

仕 様 書

2022 年度院内・院外ネットワーク機器入替

2022 年度
済生会松山病院

院内・院外ネットワーク機器入替 仕様書

「院外・院内ネットワーク 構築」

- (1) "病院情報システムのネットワークの更新であり、基幹部分は冗長化を図る事(画像センターは冗長化必須)"
- (2) "環境設計にあたり既存の統合監視ツール(AT-VST-APL)にて主たる機器の管理監視ができる構築作業を行うこと"
- (3) "病院内の既存 VLAN「Virtual Local Area Network」を継承し院外接続/院内接続/部門システムのセキュリティを考慮した設計であること"
- (4) "導入は一斉には行わず、院内各エリアに分かれ、導入日を変え順次行うこと。各エリア毎の導入日に関しては当院と協議し、作業スケジュール表を提出すること"
- (5) 既存のスイッチとの接続を考慮すること
- (6) 以下の構成に対して更新を行うこと
院外無線 LAN 用ルータ
L2pLus スイッチ更新院内ネットワーク
外部接続 HUB 更新
幹線スイッチ更新 (画像センター)
院内ネットワークエッジ(HUB256 台)

「ネットワーク工事」

- (1) 各機器の導入に際して最適なネットワーク配線を行うこと
- (2) 工事に際しては病院運営に支障をきたさないようにすること

「ループ対策」

- (1) 誤接続によるループによるネットワーク輻輳を考慮していること
- (2) ループ対策発生時、被疑箇所のポートを閉塞できること
- (3) ループが解消されると簡単に元の運用状態に戻せること

「トラブル発生時の対応」

- (1) "トラブル発生の連絡を平日 9 時 0 0 分から 17 時に受けた場合は当日復旧作業に着手すること"
- (2) 重要性を要するネットワークについては、24 時間/365 日対応も考慮すること
- (3) 上記以外の日時の場合は必要に応じ別途当院と協議のうえ対応すること

「導入について」

- (1) 既存LAN接続環境が使用できる場所については引続き使用すること
- (2) 既存ネットワーク設置エリア毎に導入作業が可能であること
- (3) 作業は診療後または休日に行うこと
- (4) "作業後は当院担当者立会いの下、通信確認を行い、翌日以降の当院運用の立会を行うこと"

「設計について」

- (1) 既存のVLANの環境を変更せず、現在の設定環境を継承できる設計を行うこと
- (2) 基幹部分は、冗長及び保守性を考慮すること
- (3) 次年度分の更新も考慮し拡張性を考慮すること
- (4) "統合監視ツールら各スイッチ(末端は除く)の状態を確認でき設定変更も行える
または同等の保守性可用性を考慮した設計を行うこと"
- (5) 既存接続機器（電子カルテPCやその他の機器）の変更が伴う設計は行わないこと
- (6) 上記の各項目が実現できる機器構成の設計を行うこと

「その他」

- (1) その他当院の要望に可能な限り柔軟に対応すること
- (2) 当院の指定する期日までに納品すること
- (3) 納入後1年間は、通常の使用により故障した場合に無償保証期間とすること
- (4) 機器の運搬、接続、設置工事及び調整費を含むこと
- (5) 本仕様書に記載のない事項については、双方協議のうえ決定するものとする